

起業家発掘プロジェクト「群馬イノベーション・アワード（GIA）2025」（上毛新聞社主催、田中仁財団共催）は6日、ファイナルステージに15組が出場した。上州八木節保存会と桐生八木節朽津会が、威勢よい節回しと軽快な踊りで会場を盛り上げた。GIA歴代受賞者によるミニトークや、タイミー（東京都）の小川嶺社長による特別講演で、来場者は新たな挑戦や起業への意識を高めた。



発表を終え、ステージに勢ぞろいしたファイナリスト

独自の視点 世界照準

ビジネスプラン部門入賞

高崎高2年

田嶋 龍介さん

パイナプルの葉を使った自然派の日焼け止めの開発を企画、提案した。需要がなく廃棄される葉の成分を紫外線吸収剤に活用し、「人と環境が共存する社会の実現に貢献したい」としている。

自然派の日焼け止め



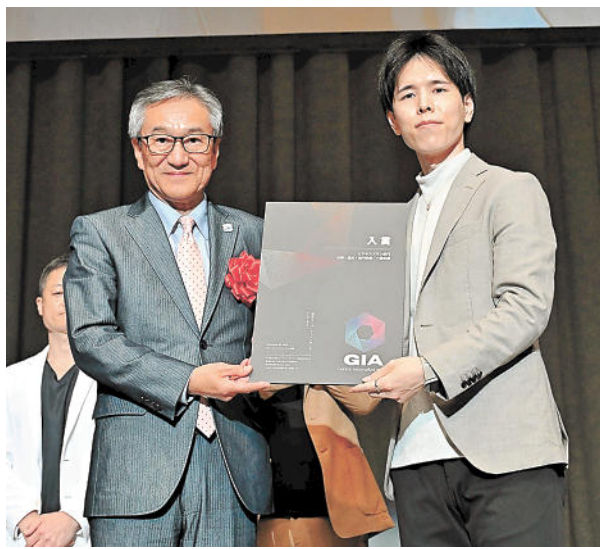
平田郁美県教育長(左)から表彰を受ける田嶋さん

Augmented Communications(オグメンテッドコミュニケーションズ)CEO

五十嵐 俊治さん

外国人材が活躍する場面が増える中、外国人スタッフの接客品質の向上が求められている。ただ、実現には多くの時間とコストがかかるのが現状で、解決に向けて開発したのが音声対話型OJT支援ソフトウェアアシスタム「ナレッジボイス」だ。

人材育成に音声対話



県中小企業団体中央会の大竹良明会長(左)から表彰を受ける五十嵐さん

大学・短大・専門学校・一般の部

群馬大病院耳鼻咽喉科准教授

茂木 雅臣さん

大賞



スマートグラスを使った補聴器のトレーニングを提案し、大賞に輝いた茂木さん

補聴器トレARで楽に

医師として難聴や中耳炎治療に携わる。自身も先天性難聴で補聴器を着用し、同じ悩みを持つ患者と向き合ってきた。聞こえの改善に効果の高い補聴器だが、普及率は15%ほど。慣れるまでに時間がかかり、使用を諦める患者も多い。「こんなにつらいものを使えるか」と言われ、傷ついた経験もあった。トレーニングを続けやすしたいと考えたのが「スマートグラスへの活用だ。拡張現実(AR)空間でアバターと会話し、聞き取り精度を評価。周囲の音量や話す人数を調整できる。病院に通わずに練習でき、人工知能(AI)との会話のため聞き間違いも助すかしくない。従来のイメージを刷新したい」と、補聴器も眼鏡型を検討している。多くの人に思いを伝えられたことを喜び、「補聴器が眼鏡と同じ感覚で受け入れられる社会にしていきたい」。来年は臨床研究を開始予定で、事業化に向けて歩みを進める。

君子es
(高崎高2年)

竹淵 遙希さん
森戸 士雄さん

相談を受けた時、気持ちをつまづ伝えられなかった経験から、応援したい人を応援するアプリ「LISTENNAVI(リスナビ)」を開発した。ワークショップに参加し、相手の学びや挑戦を応援する「エンパワ―」「思考整理」「情報提供」の三つの関わり方を学んだ。

A I 活用し相談、応援



群馬経済同友会の坂本正堂代表幹事(左)から表彰を受ける竹淵さん

PHOSLOOP(フォスループ)社長

青柳 拓也さん

ベンチャー部門入賞

「養豚や農業が盛んな群馬だからこそ、全国に先駆けた循環モデルを作りたい」と力を込める。リンは世界の一部地域に偏在する地下資源で、日本は全てを輸入に頼っている。国際情勢不安で肥料が高騰すれば、農業への打撃になりかねない。養豚農家が処理に困っていた豚ふん堆肥を引き取っ



県商工会議所連合会の金子昌彦会長(左)から表彰を受ける青柳さん

豚ふん堆肥を資源に

農作物の肥料や飼料に欠かせないリンを抽出できるリン鉱山がある」とし、「農家を方々と一緒に仕組みを安定供給につなげる。養豚作りたい」と意気込む。

伊勢崎高2年

RAHMAN SAMEEHAさん
(ラハマン・サミハ)

奨励賞

「ハラール」キッチンカーイスラム教の戒律「ハラール」のつとめた食材で作った「ハラール食」を提供するキッチンカーの店舗を提案した。本県で生活するイスラム教徒の需要に応えたいとする。



慶応大の国領二郎名誉教授(左)から表彰を受けるラハマンさん

り扱い、高校や大学への出店を目指す。将来は「国内初のハラール食のファストフードチェーンを作りたい」と目標を掲げる。多彩なメニューを取る。

斬新プラン熱く



ファイナリストプレゼン

S S H 竹内基礎
竹内山久保
桜介さん
佑斗さん
晃市さん
(高崎高2年)



高崎市が運営するシェアサイクル「高チャリ」の不正利用を防止する「TakaChari Link」を開発した。エリア外に出ると音声で通知され、利用者の位置や動きが分かる管理アプリを搭載した。走る場所や時間に応じた情報を通知し、広告にも活用できる。3人は、放課自転車に課題を感じてチームを結成。竹内さんは体調不良で参加がかなわなかったが、今後シェアサイクルの全国的な拡大を目標に、地域活性化に貢献していく。

館商工丸 松本森 鈴楽さん
由奈さん
(館林商工高3年)



似合う髪形や髪形の与える印象を可視化するヘアスタイルチェッカー」を考案した。髪形をカメラで読み取り「後ろだけ5センチ切つて」など人工知能(AI)で指示。画像は細かく調整でき、似合う髪形に近づけられる。印象の良さを美容師に採点してもらい、データベース化。偏差値に数値化し評価が分かる機能も作った。「髪形の悩みを解決し、笑顔に」。全国の美容院での活用をはじめ、就活や教育機関への展開も視野に入れる。

ビジネスプラン部門 (高校生以下団体の部)

ビジネスプラン部門 (高校生以下個人の部)

伊勢崎商業高2年 羽鳥 珠夏さん
生物の優れた機能をまねて新たな技術を生み出す「バイオミメティクス(生物模倣)」を活用したナノテクノロジー(超微細技術)素材の開発と販売を企画。天然材料を応用して持続可能な社会づくりに貢献する。自宅で飼うヒョウモンカゲモドキの表皮が持つ撥水性や高耐久性から着想を得た。バッグやアウトドア用品などの開発を目指す。「自然界の構造を応用する新しいアイデアとして楽しい商品を開発したい」と意気込む。



審査委員ひとこと

ジンスホールディングス 田中仁会長CEO
実体験に基づいた、地に足の付いた説得力ある発表が目立った。



審査委員を務めた(右から)、田中会長CEO、土屋会長、深井頭取、福田社長兼CEO、白井本部長、関口社長

オープンハウスグループ 白井淳コミュニケーションデザイン本部長
群馬だからこそ生まれた発想が多く、若者の挑戦が胸に響いた。

カインズ 土屋裕雅会長
地域性を明確に打ち出した実現の可能性が高い発表が多かった。
群馬銀行 深井彰彦頭取
ビジネスプランが斬新で実現可能性が高く熱意がこもっていた。
日本通信 福田尚久社長兼CEO
AIをうまく活用したアイデア、発表が多いのが印象的だった。
上毛新聞社 関口雅弘社長
研さんを重ね社会的意義のあるビジネスの提案に意欲を感じた。

ビジネスプラン部門 (大学・短大・専門学校・一般の部)

花助社長 小林 新一さん



「推し」に花を贈る際の「フラワーロス」を社会貢献を組み合わせた削減するプラットフォームを発表した。利用者の注文は細かい種類や本数、色合いなどに全て応えようとする生花店の在庫が増え経営を圧迫。廃棄リスクも高まる。そこで、指定しない「商品金額の一部を寄付しをれを付ける」の二つを解決策として提案した。「花を贈る熱い思いが社会貢献につながる。推しの絆も強まる仕組みを作りたい」と語った。

羽石産業知能研究所社長 羽石 有請さん



日本の食品ロスは年間464万トンに達し、そのうち事業系が50%を占める。精度の低い需要予測に基づいた過剰生産、過剰在庫が原因の一つとされる。解決するため、自然言語による対話で操作できるシステムを開発した。外部データを活用して高精度な需要予測が可能とした。予測結果は表やグラフでも表示できる。「食品業界に限らず幅広い業界に向けて導入を促し、誰でも正確に予測できる時代を実現したい」と意気込む。

PeakHikers(ピーキーハイカーズ)代表 高橋 奨吾さん



実在の人物のように動画などを配信する「Vチューバー」が農業の魅力発信し、農作物の販促や農家のイメージ向上に役立てるアイデアを考案した。自身のVチューバー活動でコメの栽培に取り組み、農作業の様子を幅広く紹介。今年収穫した6・3斗は1週間で完売し、手応えを得た。「どんな思いで作っているかは物語になって届く」と力を込め、全国のVチューバーと農家が連携して販売網を広げる構想も語った。

ベンチャー部門

グッドアイ会長 板橋 英之さん



アルツハイマー型認知症の原因物質とされるアミロイドβについてその減少効果がみられるスフィンゴ脂質をコンニャクの副産物から抽出し、サプリメントとして摂取し予防や改善につなげるプロジェクトを発表した。農家や販売業者らと連携して消費者に直接販売する仕組みを構築し、売り上げの一部を農家に還元して原料の安定供給を図る。「人間の尊厳を奪うこの病気を必ず世の中からなくす」と力を込めた。

Essen(エッセン)事業本部長 本間 夏貴さん



「街を走る車をセンサーに変える」。一般車両に赤外線カメラを搭載し、道路表面の温度変化を捉えて水道管の漏水箇所を検知する仕組みを考案した。道路陥没のような突発的な事故の未然防止につなげる。別の事業で築いた全国3万台以上の車両ネットワークを活用すれば、調査費用を従来の5万円の1に抑えられると試算。大田市で実証実験も始まった。「2028年度に上場してグローバル展開を目指す」と先を見据える。

ORKA(オルカ)ホールディングス社長 神谷 卓宏さん



病気の悪化防止や身体機能の回復、維持を図る「三次予防」の市場が拡大傾向にあることに着目。基礎代謝の上昇効果が期待できる菌体「OR-D乳酸菌」を活用した医薬品、化粧品などを全国のクリニックを通じて提供する事業を始めた。医療機関用の歯磨き粉を歯科医院へ提供するなど実績も上げている。すでに20種類の疾患で改善効果がみられるといい、「2年間で100種類の疾患の改善につなげたい」と意気込んだ。

起業家発掘プロジェクト「群馬イノベーションアワード2025」に協賛しています。

日本通信株式会社
Japan Communications Inc.

SEGA Sammy

冬木工業

糸井商事
糸井ホールディングス株式会社

Farmdo group

有限会社アゼット
AZET CO., LTD.

株式会社 石井設計
ISHII Sekkei

石川建設
ISHIKAWA

オネスティハウス
髙田屋

USUI
うすい 圭雄

ELSPINA
クシダ工業株式会社

マルイドラッグ

グルメフレッシュ・フーズ

群馬トヨタグループ

ダイコー

TAIYO YUDEN

大和ハウスリアルティマネジメント株式会社

高崎佐藤眼科
TAKASAKI SATO EYE CLINIC

税理士法人 田子会計事務所

富士スバル

PLUS N
株式会社プラスエヌ

株式会社プリマベラ
イキイキワクワク2葉1く成長

ほくてん

前橋園芸株式会社

北群馬信用金庫

桐生信用金庫

群馬県信用保証協会

しのめ信用金庫
夢を語ろう、手をつなごう。

MIZUHO みずほ銀行

MIZUHO みずほ証券

SMBC
三井住友銀行

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

追求、挑戦、解決

特別講演
タイミー社長
小川 嶺氏



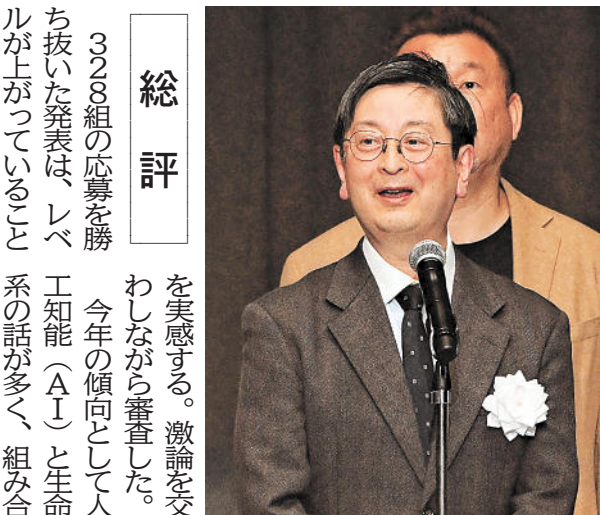
自分の時間誰かのために

スポットワーク(スキマバイト)仲介最大手のタイミー(東京都)の小川嶺社長。多くの人を喜ばせたいと長28年、社会課題を解決、起業精神を熱く語った。小川社長は大学時代に起

業を目指して、自身もGIAのような大会に出場してビジネスプランを磨いてきたと説明。受賞したアイデアをきっかけに20歳でアルバイトサービスを立ち上げたが、業界関係者との熱量の差を感じて事業転換を決めた。日雇いバイトを経験する中、人手不足とブラックバイトの問題に疑問を持った。バイト先で感謝された経験を得て「自分の何でもない時間が、誰かのための時間になる」。これは人生を懸けてやりたいテーマだ。思い立ち、労働市場

審査委員長・慶応大名誉教授
国領 二郎氏

AIと生命系に可能性



3つの組の応募を勝ち抜いた発表は、レベ工知能(AI)と生命系の話が多く、組み合わせることで可能性がさらに発展するのではないかと感じた。大賞の茂木雅臣さんのプランは象徴的な取り組み。社会課題と結び付けたテクノロジーやAIによるコミュニケーションの支援など、投資してみたい発表が増えてうれしい。群馬から世界を目指す期待が持てる。社会を変えていくというコミューティが大事で、競争しながら助け合い共に進んでほしい。

ファイナルで大賞のトロフィーを掲げる茂木さん(中央)と
拍手する審査委員、ファイナリストら



小中高生プレゼン、企画多彩



「探究の魅力の発信」をテーマに多彩な催しを行った高校生探究EXPO

高校生探究EXPO

初開催の「高校生探究EXPO」は企画から運営まで高校生が手がけ、「探究の魅力の発信」をテーマに多彩な催しを行った。県内各地の高校生約60人でつくる実行委員会が主催。世の中で探究の重要性は増した。探究発表のステージ

こだわりのパンと コーヒーフェア

13ブース出店

た。さまざまな種類のコーヒーのほか、菓子パンや総菜パン、グルテンフリーのベグルなどこだわりの商品が並び、来場者を楽しませた。訪れた前橋桃木小3年の高橋優さんは「公園で食べるのが楽しみ」と笑顔で話した。



長蛇の列ができ、にぎわったパンの販売ブース



ボールペンを書き比べ、お気に入りの投票する来場者

お気に入りの1本書き味試して投票。群馬ボールペンアワード文庫専門店を展開するハインツ(高崎市)が開催した「GBA」(群馬ボールペンアワード)も人気を集めた。来場者が書き味を試してお気に入りの1本に話した。国内外のメーカー15社が製造した48種類が並んだ。筆ペンタイプやライトが付いた変わり種もそろえた。1位には独逸の「safariro」が選ばれた。ハインツの大河原睦社長は「書き味の違いを楽しんでもらえて良かった」と話した。



交流会で乾杯するGIA関係者ら

「社会を動かす プランに刺激」

交流会に200人

ファイナルステージ終了後に開かれた交流会には関係者約200人が参加した。上毛新聞社の関口雅弘社長の発声で乾杯後、立食形式で親交を深めた。交流会は幅広い業種の関係者

がつながりを持つ場ともなっている。会場では入賞者があらためて紹介され、リラックスした表情で喜びを語った。参加した群馬大大学院生の鶴本明日香さん(26)は「社会を動かすビジネスプランに刺激を受けた」と話し、前橋市で写真映像サービスを手がける池田正視さん(42)は「普段出会えない人と接点を持てる貴重な場」と交流を楽しんでいた。

Gunma Innovation Award 2025

JINS HOLDINGS

OPEN HOUSE GROUP

CAINZ

群馬銀行

Koshidaka HOLDINGS

相模屋 相模屋食料株式会社

株式会社相川管理

AKAO 赤尾商事株式会社

ASAHI 株式会社アサヒ商会

AT HOLDINGS 株式会社アパニティ・レヒューズ

NTT EAST

ORBIS オルビス

カネコ種苗株式会社

共愛学園前橋国際大学 KYOAI GAKUEN UNIVERSITY

KDEI コーエー株式会社

KOKUSAI SECURITY SERVICES 国際警備株式会社

Cym コンピュータシステムマネジメント

JR 東日本旅客鉄道株式会社 高崎支社

JTB 感動のそばに、いつも。

JACS Experience a New Adventure.

CHUO 中央カレッジグループ

株式 西建 NISHIKEN 会社

CELEBRATE LIFE HANASUKE

PIZZERIA PESGA!

BMZ

広田住宅センター

MSD MSD BRICK 増田煉瓦株式会社

宮下工業株式会社

メモリー

ヤマト

ユナ厨房 YUNA CHUBOU

アイオー信用金庫

大和証券 Daiwa Securities

高崎信用金庫

東京海上日動

ふれあいバンク TOWA 東和銀行

JFC 日本政策金融公庫